京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金[illegible]▲三ヶ月前金[illegible]▲六ヶ月前金[illegible]　郵税一ヶ月十三錢　月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲普通特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久[illegible]
印刷人　松久神一郎
發行所　京城新報社　京城西署西小門通（電話六六三）

内外應酬　一記者

此稿は京城瞥見録といふを連載中未完結しないが、前日韓演説會例會の席上、近藤廉平、市原盛宏、石川安次郎三氏の演説を聴きて忘られぬ程の興味を感じたので一寸余興代りに三氏の演説評を書いた、勿論名士の演説が主題である、決して輕々に看て頂きたくは無いのである。

市原盛宏氏の演説

氏の演説は座談式であつた、元來演説には体裁が大切なることは云ふ迄もないので、如何なる雄辯も能辯も其の体度にして辯説との調和を欠いたならば其が人を動かす力は大半を殺減せらるゝのである、併しながら若し態度甚だ莊重にして辯説が飄逸の趣を帶てたならば、丹は却て滑稽に陷る、當夜の市原氏の演説は具体的辯説も總て座談式で甚だ妙であつた、で彼の温平として而かも淳ならざる演説と、曰く有り觸な便々たる彼の顏と、飄逸にして而かも諧謔なき彼の辯説とは實に良き調和が保たれて居た、記者は萬一此の人が韓銀で失敗して、株主總會の席で一世一代の智慧を絞りて辯解演説を試みなば定めて辯解演説の模範を後世に貽す譯のものであらうと思つた、唯惜しい事には氏の如に不得要領の顏を擧げて、眞から嬉しさうな笑ひを見せる下腹膨らむだ人は大失敗をしないもので、遂に氏の大演説は聞くことが無いかも知れぬ。

近藤廉平氏の演説

氏の演説も亦市原氏式であつた、が氏の風貌は異樣なるが如く其の辯説は滑脱を缺く趣きがあつて、頗くして調和が得られたのである、或人が氏の演説を中禪寺の湖に比したが成程と點頭かせられる、底や然こそ深からめと想はせる、蒼々たる彼の湖心の水の色をドチラかと云ば其の沈みたがる顏の色とこれに投影す胡麻鹽の髮や髭の色などに譬へやう、而して其の水の面に渡る微風は市原氏の强調課枝に比すべきか、嗚呼其微風が千古の色を湛へたる湖に起せる漣である筈だが夫れが案外に爲かつた、恐ろしとよりは寧ろ一種凄壯の觀を呈した、合邦問題なんぞ實に褒き輩のものではあるまいか、人は中禪寺の湖に狂瀾怒濤の奔落の底より捲起つが如き壯景を見やうなぞ夢思つてはなりませぬ、唯閑寂の裡に一種凄然たる風趣を捉へ得べきである（未完）

地方通信

▲平壤通信

●道路開築現況　引續き開築中なる平壤鎭南浦間の道路は十三里半にして鎭南浦より八里は南浦出張所の手により己に竣成し殘り五里半は平壤出張所の管轄に屬し己に四里は竣成し目下一里半の工事中なり同一里半は岩石多く工事捗らざるも十月頃迄には竣成の豫定なり同道路は平壤財務監督局の横まで開築すべき筈なりしも平壤理事廳より土木局へ交渉の結果民團役所横側道路に連絡せしむることゝなり目下測量中なり尚ほ[illegible]場川橋架設に就て入札を執行せり

▲順川の良氣風　去る五日の東籍田に於て韓帝の親耕式を擧げられたる當日なるが順川にては此日郡衙外各官衙の官吏、普通幼年兩學校教師及び生徒の他多數有志等農事試作場に會集し各自農具を手にし試作場用地に各種の苗木及び種子を播植し頗る盛況を極めたりと因に右兩校生徒等は常に農業獎勵の趣意を体し學業の餘暇には右用地內に耕耘を試み其の得たる賃銀は之れを農林業の實地に費用に充し居り嘗て徵税の事に暴擧をなせし土地柄なるに今や一般の氣風漸次良好に赴き別掲の如く官民親睦會の組織も成り末頼もしき狀態を現せりといふ

▲民團共同土木案　平壤民團にては九日午後二時より四十二回民會を開き觀察道と交渉修正を加へたる日韓共同土木案につき審議の末大体は修正案の如く決定せるも大和町より停車場に至る道路と大和町及び旭町の下水に關しては觀察道の修正と意見を異にせるを以て再び大賦民長、內田議長は交渉委員として十日大木道書記官を訪ひ交渉の結果道に於て略々民團側の意見を容るゝ事となりしにより更に十一日午前一時より民會を開催し愈々確定すべき筈なり

緑陰漫筆　四四生

▲文章の大觀

昔人稱す『韓文は海の如く、蘇文は潮の如し』と、特に知らず、韓蘇の文の如きは區々たる自家の小文章にして、宇宙の大文章と稱するに足らざることを、天地は宇宙の大文章なり、只思想の高大なるもの以て之を觀るべく、眼光の絶大なるもの以て之を掬むべく、氣宇の磊塊雄偉なるもの以て之を掬すべし、當今世間の才子、纔かに筆墨を執れば得々として己に古人の城に躋りて跨る、噫彼れや小丈夫、何ぞ宇宙の大觀天地の大文章あるを知らんや。

▲無情と眞情

俗物我れを罵つて情なしといふ、是れ豈に語るに足らんや、古語に曰く、多情の人は寡情に至る、と蓋し之れ眞情ある者にあらず、我れは願くは眞情を持たん、筆を投じて仰臥すれば、床上の蘭正に匂やかに、机上一鉢の殘櫻、紅帒は濃かなり、佳人の夢路何れにか迦る、我れ之を思ふ毎に情緒灰ならんとす。

▲教育界の腐敗

京城中學統監府立となるや教諭先生濮かに金線、帶劍、改む、是れ眞に滑稽の極、威嚴は服裝に依らず人格に依つて初めて備はる、聞く頃者校內に醜業婦の出入頻々、而かも數日間校內の一隅に流連すと、是れ教育界の腐敗を表白して余りあり、金線服破れて毛脛露はる、不体裁の極。

◎新刊紹介

▲三田文學（第一號）五月一日創刊されたるものなるが其の名の示す如く三田派の文學雜誌と見て置くべきものなり鷗外博士の『椋鳥』野口米次郎氏の『朝顏姫』の原文を收け此の外馬場胡蝶永井荷風氏等の名も見ゆ紙も好く印刷も鮮明なる美術的な雜誌なり（慶應義塾內三田文學會發行一冊二十五錢郵税一錢五厘）

▲東洋時報（第百三十九號　四月二十八日東京麴町區一の一東洋協會發行）

▲東洋經濟雜誌（千五百四十一號）飯島千代太郎氏の『日韓合邦と景氣恢復』と題する一文あり、こゝが人氣なりとて日韓合邦にて以て景氣恢復の動機なりとせり可否は讀者で評せられたし（東京京橋區彌左衛門町經濟雜誌社發行一部十錢）

日本銘刀傳

第百十二席　邑井一調講演

津田近江之守（十六）

越「直冗談を云ふな、これ未だ銘も子等に數へたことはない、此の亂れ燒といふものは、何うして槌を入れたら此様に金色が出るかといふことを知つた奴は、一人もある筈のない、乃公が自慢の亂れ打ち、汝などに此様なことが出來て堪るものか、さては汝等ア寄つて集つて斯うやつて乃公の刀を觀せて置き、そこで以て自己の打つた物が分らぬと思ふか、左様なことの目の廓かぬはぞに津田越前がモウ耄碌でもして居ると思つて居るのか、一寸見りやア分つて居るわい　直助「でも親方私は決して詐りは申しません、當年初めて打つて見ろと仰しやいました、それでマア私か……　越前「何だと汝が打つた　直助「ヘエ、だから銘も何も刻れてはございません、まだ銘れやうにも名前もございませず、貴方のれ打ち上げになりました物にはれ名前の刻つて居ないのはございますまい、それとれ除め下さいましたら分ります　越前「眞にそれも然うだ」と氣が付いて、目釘を拔いて柄を去りヂツと斯う眺めますと成るほど鑢も入れてはなし、よく〳〵見るといふと全く自分の打つたのではございませんが、併し鋼身の長さに合して帽子先から鍔際まで亂れ打ちといふことに相成つてございますがその金色の様子は津田越前守の打つたのに些も違はない、流石の越前助廣も少時の間は呆然として居りましたが　越前「直此爪でも煎じて服め、直、忽るな、此鋼子で行けば汝にやア乾度俺の秘傳をする鑢、湯加減、其の他のことを授けて遣る、又是なら俺の名代が大丈夫出來るのだ」大勢の輩も呆れ返りました「オイ〳〵飛んでもないことが出來て來たぞ　○「さうだらう同じ様に仕事をしやアがつたつて、彼奴ア來やアがつてから、丁度六年修業して居るんだな　△「馬鹿を云へ三年にしかならないぢやないか　○「ナニ晝間が三年夜が三年だ、ねえ親方、夜分勝ますさね、うれから又仕事を始めやがるんです　越前「何夜分に仕事を始める　○「へエ　越前「いよ〳〵これは汝が打つたのか、ム、……して誰れが向槌へ廻つたのだ」片傍に聞いて居りました直助は「親方、私も口へ出してこそ云ひませんがね、此の間も此の野郎が仕事場で潸然泣いて居りましたから、何だと聽くと誰れも向槌に廻つて呉れる者がないと云つてシク〳〵泣いて居りましたから、私も可哀相に思ひまして、親方が打てと仰しやつたのなら乃公が廻つて遣るといつて、でマア向槌へ廻つて相槌をしましたがね、親方貴方が今度は念を入れて、一口打たなければならない、と仰しやつて、一生懸命になつてれ遣りなさいます、其時はマア私も汗を流して向槌へ廻りますが、丁度直が仕事をして居りますのは、貴方が心籠めてれ打ちなさる槌の入れ方と些も違ひないのでございます、まるで何のことはない、親方の向ふに廻つて仕事をするやうな氣が仕まして、思はず知らずも私やア汗を流して相槌して遣つたんです、どうも此直つて奴は稀代な奴でございます　越前「ム、ヤイ、マア皆こゝへ來て直の打つたのを見ろ、是れが即ち亂れ打ちと云ふ者だ、此亂れに仕上げやうと云つたら槌の入れ方と云ふ者が、中々通常の者に仕けるものでない、汝等や　するとそれ夜分仕事場へ廻つて來るのか　○「ナニさうぢやないので、宅の親方の槌の入れなさる呼吸は斯う云ふ具合だと云ひまして、そこで寢るかと思ふと枕を箸でコン〳〵叩きアがるんです、何うも喧しくつて寢られませんから喚りますと、貴郎方さうか暫く御辛抱なすつて下さい、今に是れが耳馴れますなんて云ひましてね、大變な奴もあるものでございます　越前「さうか」越前は非常に感心しました。

東京電報

▲白國使節の退京
白國皇帝陛下即位通告使節ゴブイチ男の一行は本日退京したり名古屋に立寄り拾三日京都を經て十五日敦賀より西比利亞線を經由して歸國の豫定なり(十二日)

▲御名代宮の隨員
來る二十日ウインゾル宮殿に於て行はせらるべき英國先皇帝御大葬に付き我陛下の御名代として伏見大將宮殿下御參列あらせらるゝに付高平全權大使、馬場別當、塚田武官は隨員仰付けられたり(同上)

▲日英博と英皇帝
農商務省宛和田日英博事務總長へ電報によれば英國新皇帝ジョージ第五世陛下には日英博覽會の延期より多數英國民の業務を失はん事を顧慮に思召され忌憚なく開催すべしと優渥の叡旨を傳へさせられコンノート親王殿下にも同様の御意見なるより御卽官に臨み十四日何等の儀式を用ひず開會する事になりたり(同上)

▲生產調査會開期
生產調査會は愈よ六月一日頃第一回會議を開き全委員七十四名を召集の上議事規則並に調査方針を議定し各調査事項を分擔し特別委員撰任を爲す筈にて調査事項の附議すべきものは農商務省各局に於て編成中なるが頗る進捗したり(同上)

▲男爵議員補缺選擧
過日逝去したる小原適男の補缺選擧は來る十四日執行の筈なるが神田乃武男多數を以て當選すべし(同上)

▲汽船難破の詳報
既電和歌山縣下周參見港に避難中暴風の爲めに難破沈沒したる和歌山丸は乘組員船長前田大治郎氏以下十八人にして乘客は一等四人、二等十三人、三等三十二人にして内乘組員十三人乘客三十六人は今尚行衛不明なり同船は九日大阪出港郵便物八十六個を搭載せしが内五個を引揚しも殘七十九個は流失し目下搜索中(十三日)

▲競馬規則の改正
閣令第十號を以て競馬規則改正發表されたり其の要領は競馬を開催せんとする者は二個月前に開催日時番組を具し馬政長官の認可を受くべし年齡三歲以下の馬匹及馬匹改良に利益なき馬匹は競爭に使用する事を得ず馬政長官は馬匹改良上必要と認むる時は競馬會社に對し設備費又は開催費の補助を交附す(同上)

▲遙拜式と勅使差遣
英帝大葬當日英國大使ノ主催にて築地聖公會に於て執行せらるゝ遙拜式には天皇陛下より勅使を皇后陛下より御使を御差遣遊さるゝ事に御治定相成たり(同上)

▲議院建築の調査
政府は議院建築の爲め調査會を設くる事に決し二十九日迄に委員を任命すべし建築工事費豫算は二千萬圓にして完成期間二十ケ年間なりと(同上)

▲統監後任の排斥
曾禰統監の後任は寺内陸相兼攝し宇佐川男副統監に決定せりとて排斥運動盛んなりとの說あり(同上)

▲我練習艦隊の消息
先般來ヒルマンドルに碇泊中なる練習艦隊は昨日同地を解纜バタビヤに向け出發十九日到着する旨其筋に電報ありたり(同上)

▲韓國觀光團の光榮
渡邊宮相は優渥なる御沙汰を奉じ今十三日正午濱離宮に午餐會を開き久邇宮邦彥王殿下臨場し韓太子をも招待して韓王觀光團一行を招待せり(同上)

▲觀光團員の惡謀策
京城日報社主催の觀光團中に二三の非合邦派首あり大韓興學會員(留學生の組織せる者)と何事か劃策中なりと(同)

歐洲電報

▲戴冠式と立太子
英國新皇帝ジョージ、フレデリック第五世陛下は定期の時日經過したる後吉辰をトし莊重なる戴冠式を行はせらるべく同時に陛下の皇長子は立太子式を行はせらるべし(十二日)

▲憲法上危機去らん
新皇帝をして憲法上の位置に付憂慮する事なく施政を始めしめんが爲め英國の政客は宜しく意見の相違を除去すべしとの議各方面より勸告せられ或新聞紙の如きエドワード陛下の崩御を早めしめたるものは實に此憲法上の危機なりしと頻りに論じ居り(同)

▲故英帝の御墓所
故英國皇帝陛下の御遺骸は大葬後ウインゾル宮に御埋葬あらせらるゝに決定したり(十三日)

▲新皇后の御發表
英國新帝ジョージ、フレデリック第五世陛下は皇后はメリー皇后と申し奉る旨發表せられたり(同上)

▲倫敦株式界の景氣
日本公債既に益々好し(同上)

▲宣示式の御模樣
英國新皇帝ジョージ第五世陛下には十日最も莊嚴なる儀典を以て公に皇帝と布告せられたり卽ち時計が九時を報ずるや頗る精密の四名の式部官セントゼームス宮殿の禮拜堂を壓下せる露臺に現はれ喇叭を以て儀式開始を宣し夫れより直ちにテラリスコレクチウオ(系圖を保管する一のコレーション)を圍みたる大官及び貴族並に莫大なる群衆の面前に於て嚴かに布告書を朗讀し民衆は皇帝の萬歲を唱へん事を求め樂隊は國歌置句を奏して集れる民衆は盛んに之に和せり同時に砲兵各一中隊皇禮砲を發し皇帝旗はマエボロ宮殿に掲揚せられ國内全土は第一に國旗を掲げたり皇帝並に皇后はマエボロ宮の内より式を御覽あり若き王子等は見物人を面白氣に眺められ民衆は熱誠を以て皇族を歡呼せり同布告は倫敦並に英國到る處に於て等しく朗讀せられたり

北京電報

▲湖北一帶の防穀
湖北一帶の米價騰貴し窮民動搖の徵あり瑞總督は防穀令を發し漢口よりの米輸出を禁じたり關係各國は事實調査の上抗議すべし(十二日)

▲濤郡王の御參列
淸國政府は濤郡王を英國皇帝大葬に參列すべき大使たる事を電令し郡王は十日英國皇室を御訪問あらせらるべく國書を送れり(同上)

雜報

▲露國の韓人取締
露國官憲は雁報の如く旅行券を携帶せざる韓人を悉く取押へ其都度之を韓國官憲へ送還し其數無慮二百余名の多きに達したり是れ從來見ざりし例にして同國官憲が何故斯く韓人の入露取締を嚴にするに到れるかは大に注意すべき事に屬す豈に啻に無賴の韓人を防ぐ爲めのみならんや蓋し同國領域には李範晉、李範允の徒放浪し所謂排日系と稱する一派は悉く其麾下に集まり現に烏港の如きは其巢窟を以て目さるゝに至れり而して此趨勢は往々不測の危險を釀生し痛くもなき腹を探ぐらるゝは同國の本意にあらざるのみならず日露國交上洵に面白からざるものあり則ち彼等入露者の多くは生活難の結果に基くもの多しと雖も一たび茲に到れば遂に排日思想に魅化せられて附和雷同しつゝあるは蔽ふべからざるの事實なり故に之が取締を嚴にせるは機宜に適せる政策にして又吾が日本に對する好意に因るべしと云ふ

▲海美郡民の集合
京畿管下海美郡民等は隆熙元年度の租稅を旣に當時の郡守李某に納付したるに拘はらず近時亦々財務管督局より徵稅の命狀を接したるを以て大に驚き理由を附して之を拒みたるも容れられざるを以て附近の郡民集合し反抗的不穩の形勢を示めしたるにぞ當局者は大に警戒し驪川、楊市の前例もあるをもて說諭解散に努め漸く解散せしめたり

●大老鹿島燈臺新設
關稅局告示を以て左の通り發布さる
一 隆熙四年五月十五日より韓國西岸全羅南道木浦港の北西約三十浬に位する大老鹿島に建設せる燈臺に於て點燈を開始す
一 燈臺 位置は日本海軍水路部刊行海圖第三百三十四號に依れば左の如し
北緯三十五度六分十秒東經百二十五度五十九分二十秒
一 燈塔 鐵製土造圓形にして白色に塗り且高さ基礎より燈火迄十五尺なり
一 燈火は第五等白色「アガ」式明暗燈にして燈光發射の時間は明間〇、三秒暗間一、七秒なり
一 燈火の中心は高潮平均水面より高さ二百二十四尺にして晴朗の夜に際し水面上十五尺の上にある觀測者は十一海里の距離に於て始めて之を視ることを得るなり
一 燈火は南十六度三十分東より南、西及び北を經て北三十九度十八分東迄二百三十五度四十八分間及び北五十度二十六分東より北八十一度二十分東迄三十度五十四分間を照輝す
但明弧は海上より燈臺に向て方位は磁針を以て測定す
注意 本燈明機械は一度點火するときは十ケ月間保持し得べき構造なるを以て常に看守員を置かず故に万一燈火消滅するときは再び點火する迄多少の時間を要す航海者宜しく注意すべし

●郵便局取扱の公金
本年一月一日より四月三十日に至る四箇月間に通信管理局と韓國銀行間に受渡したる公金は歲入六萬八十七口三百十六萬九千九百三十二圓五十錢一日平均五十二圓七十五錢六厘歲出二万九千七百七十口百三萬八千百四十二圓四十三錢二厘一日平均三十四圓八十七錢二厘にして昨年の同期間に比較すれば歲入に於て二萬三千八百四十六口三十七萬七百七十八圓四十五錢の增加一日平均二十四圓四十八錢一厘の減少を示し歲出に於て二千九百十八口十八萬九千六百八十三圓三十七錢一日平均三圓三十七錢四厘の增加を示せり

●警察官茶話會模樣
十八回警察茶話會は十二日午後一時より警察官練習所に於て開催警務局警視廳員の出席するもの多數にして練習生の傍聽を許せり先づ山道囑託の「階級制度と社會組織」に就き地方に於て取調べたる有益談話あり次で警務局對馬法學士は臺灣警察と日本及韓國警察とを比較して其特色を擧げ又角保安課長は日本警察一班に就き詳細にして有益なる講話ありたる後松田警務局長は前三者の談話に就き批評を試み尚練習生一同に對し訓誡的講話あり

●警備船鴨綠江派遣
內部警務局は平安北道沿岸に東拓會社の漁船約四百隻と水產組合より出漁する內地の漁船多きを以て之れが保護取締及び淸國密漁船取締りの爲め全羅南道警備所所屬警備船二隻を派遣し從來同地沿岸を巡航せる稅關船の任務以外專ら警務上の任務に從ふべしと尚夏季に入ると共に鴨綠江の木把紛擾事件を惹起すべきに就き內一隻をして同江を遡りて之れが嚴重なる取締に任せしむべしと云ふ

●引替小包受取便法
從來當地に於ける關稅付小包及代金引替小包郵便物は京城局に留置交付し來りしが本月十五日より左記郵便所に便利なる地域に宛てたるものは同所に留置き京城局より受取人に小包郵便物到着通知書を發する際何々郵便所留置と云ふ印章を押捺する筈なりと云ふ
南大門郵便所、本町六丁目郵便所、明治町郵便所、本町九丁目郵便所、永樂町郵便所

●此の資格ある巡査
近時韓人巡査採用試驗を執行するに有位帶勳者、前陸軍將校、前議官、參奉又は判任官の經歷ある者等にして受驗するもの多きが是れ生活難より來れる結果か或は時勢の進步か孰れにせよ學識あり品位あるものの巡査を志望するは喜ぶべき現象なりとす

●土木出張所の增設
內部土木局にては從來全道に十ケ所の出張所を設置し以て治道工事に從事しつゝありたるが今般本年度に於ける新規治道工事起工に就き左記六ケ所へ出張所を新設したり
忠南天安、忠北淸州、慶北慶州、黃海砂利院、全北全州、咸南咸興、

●葉錢引上方針一決
四月十六日より三十日に至る迄納稅交換により買上たる葉錢は三萬二千十九圓にて引上開始以來三百二十一萬三千七百八十九圓の累計に達したり尙從來は葉錢引上に關し種々の方法を採りたるも今後は努めて自然の引上に委し強ひて引上を急がざる事に方針一決せり

●統監邸の夜會準備
石塚長官は駐日獨逸大使ムンム男來韓上は同大使の爲めに統監邸に盛大なる夜會を開催する由にて目下準備中なり因に當日は在京各領事館員重なる外人及び日韓官民の重なる者百余名を招待すべし

●獨逸領事等の傍聽
十三日李在明公判に付獨逸總領事クルーゲル氏は從者一名を從へ裁判所の好意により裁判長席の後方に椅子を與へられ李在明公判を傍聽せり而して數刻にして從者に何事か囁き退廷せり其外聯合通信社員ボリアン氏も傍聽せり

●遭難艇義捐金送付
島村海軍中將外十二名の殉難に係る第六號潛水艇遭難事件の義捐金は統監府同所屬官署及び韓國各部の分六百八十八圓五十錢に達したるを以て統監府秘書課より十二日付を以て井出海軍省副官へ宛て送附したり

●工業傳習所卒業生
工業傳習所第二回卒業生は左の如し
染織專攻 六人　陶器專攻 二人
金工同 三人　木工同 一人
應用化學同 一人　染織科 十二人
陶器科 十人　金工科 十八人
木工科 八人　應用化學科 十八人
土木科 九人

●舊白銅貨の引上額
舊白銅貨引上額は四月末の調査によれば九百六十萬八千六百三十六圓卽ち千九百七十六万七千四百八十八元なりと

●赤十字社支部總會
赤十字社京城支部に於ては石黑男の入京を機として十八日午後三時より好鑑園に於て總會を開くことに決定したり

●土木會議の終了期
十日より內部土木局に於て開會中の土木會議は約一週間を以て終了すべし

●門島燈臺霧笛停止
韓國南岸港門島燈臺の霧笛は破損の爲め本月十一日より當分吹鳴を停止せり

●山根囑託の講演
韓國衛生顧問山根正次氏は今拾四日京城婦人會に臨み家庭衛生に關する講演を爲す筈なり

●民團吏員運動會
京城民團吏員及び同學校職員等の聯合大運動會を十五日午前十時より慶熙宮に於て催すと

▲軍司令官の北韓巡視
駐韓軍司令官大久保大將は來る廿一日當地出發釜山を經て元山、咸興方面を巡視し雄基灣迄赴く由

▲學相の巡視日程
既報の如く李學相は十二日午前九時南大門發列車にて南韓巡視の途に就きたるが其巡視日程左の如し
十三日釜山滯在、十四日東萊、十五日馬山着、十六日同地滯在、十七日密陽、十八日大邱着、十九日同地滯在、二十日永同、二十一日沃川、二十二日淸州着、二十三日同地滯在、二十四日溫陽、二十五日安城、二十六日水原、二十七日歸京

●衛生組長總會紛擾
京城日本人衛生組長等は衛生事務の統一及活動を期待せんとの趣旨を以て聯合會を設けんと發起し過日來聯合總會を商業會議所樓上に開催せしが其根本主旨に就ては何人も異論なかりしも唯だ會則案第四條に本會は居留地に於ける各種の問題を討究し及官憲の諮問に應ずる旨の條項ありしより忽ち紛議の動機を成し斯かる條項は衛生組合の範域を脫出せるものにして啻に不穩當を極むるのみならず其裏面を忖度すれば組合を利用して居留地行政に干與せんとするものなり尚は忌憚なく是を穿てば來るべき民團議員總選擧の地盤を作らん野心に基因するものなりとし猛烈なる反對者現はれ去七日第一回總會の如きは殆んど百花狼藉の紛亂を極め更に十一日開催せるも遂に全員の出席を得ず流會したりと

●勸業模範場視察團
京畿道竹山郡守李潤水は郡內各面長有志者五十余名を以て水原模範場視察團を組織し過般水原に赴き模範場、農林學校、林業事務所其他を觀覽したりと

●仁川の石黑男歡迎
石黑男爵は來る廿一日仁川に來着する豫定なるを以て同地日本赤十字社支部に於ては男爵の歡迎を兼ね茶話會を開催するの計畫ありと

●仁川道路開鑿工事
仁川寺町を經て京町に達する新道路は開鑿工事中[illegible]に石垣崩壞せし爲め其丈け竣工期を遲延せしめしが一昨十二日農商工部安田技師は現場を檢分したり

●ハリス博士の渡英
昨紙所報萬國宣敎師大會に列席の爲め渡英すべきハリス博士は來る二十日一應日本に渡り夫れより倫敦、エヂンバアーグに至る筈なりと

●取引所問題委員會
澁澤實業團滯在の爲め延期したる取引所設置問題の調査委員會は今十四日午後六時より開會する筈なりと云ふ

●櫻井小學校上棟式
過日起工したる民團立櫻井小學校は來る十六日に上棟式を行ふ由にて本月中には全部落成する豫定なりと云ふ

●榊原隊長豫定變更
十二日朝出發大邱に向ひたる榊原憲兵隊長は豫定を變更し三日馬山に趣きたるか一泊の上釜山に向ふべしと

●獨逸大使の來京期
獨逸大使ムンム男は愈々來る廿二日頃到着する由にて四日間滯在の豫定なり

●天野理事官大田行
入京中の天野群山理事官は三南鐵道の分岐點視察の爲め十三日大田へ向へり

●日韓書房新刊
韓城の風雲と名士と題するは現朝鮮日日新聞記者細井肇氏の筆になり朝鮮通を以て有名なる菊池長風氏の校閱に係る者なり、細井氏は白面の一書生未だ多く世に知られざれども其文才、夙に同業者間に敬服せられたり此書は簡なる人物評論にして一讀以て韓城政界の一半を知るに足る韓語に通せざる日本人の多くは朝鮮に如何なる人物あるやも知らざる今日に於て僅か、時期に適したる好著と云ふべく附錄として優美なる寫眞版多數あり(定價八十錢本町二丁目日韓書房)

公人私人
△水告千萬吉(海軍機關中佐)平壤へ
△森脇虎壽(千葉縣技師)馬山へ
△黑田達三(春川財務官)春川へ

寄書

京龍合併問題　民團議員 曾我勉

京城龍山の兩民團を合併するの可否に關し田村義次郎君は議員皆川廣濟君の非合併論に對し合併論者の意見をも新聞紙上に發表し與れと望まるゝ事再度なるに依り余は合併論者の一人として一書せんとす幸に貴紙の余白を割與せられなば幸甚
余は京龍合併に關して一己の意見は既に該調查委員會及び協議會に於て之れを發表し居るを以て今更貴重なる紙上を以て更に發表するの必要もあらざるべし元來斯る問題を新聞紙上にて可否を論議する時は或は双方極論の議論に互り遂には京龍間の感情を害する事もあるべし故に合併するも亦非合併に終るも新聞紙を利用して論議するは余の好まざる處なり又仄かに世間の流說を聞くに京龍間の問題を利用して新聞政略を用ひ某運動の伏線を張らん計畫をなす人ありと余は此る人のありや否やを知らざるも本問題に限り新聞紙にて意見を論議する事は暫く容赦あらん事を望む

▲治外法權▼

此頃或人が東上して桂侯に面會した時、韓人精神教育の事に及んだ、大頭侯の曰く私も韓人の精神教育に就ては平素考へて居る、併し困つた事には今の韓人には精神教育の中心になるべきものが無い、ドウカ遠からざる中にドウかして與へずばなるまい▲英國新皇帝ヂヨルヂ五世陛下が過日即位を宣示されたときに幾萬の國民は群を爲して國歌「神よ我王を助け玉へ」を三唱したが歡聲天地を震動せしむる許りであつた、之を以て見るに英國皇室と國民との關係は極めて自然であつて無理な形式ばつたところは一つも無い▲之に反して獨逸はドウカと云ふに皇帝街路通行の折は警官が路上の人に脫帽を强ゐる、直立不動を命ずる、丸で總てが器械的に出來て居る▲此頃はドコへ行つても統監の更任說で持切だ、寺内だ、後藤だ、目賀田だ、宇佐川だ、併しまだ居留民中からは統監副統監の候補者が一人も出ない樣だ▲若しも記者にして統監の大命を拜することもあらば劈頭第一今の大官を殘らず罷めてしまう、ソウして其代りは皆居留民中から拔擢する、先づ總務長官が和田常一、司法官が皆川廣濟、度支部次官が中島司馬之介、農商工部次官が山口太兵衞、內部次官が菊池謙讓、學部次官が鮎貝房之進、警視總監が藤浦[illegible]彌、なら今の統監府よりはモチット仕事が出來る。

李在明公判雜觀

▽ブル〳〵震へた李在明 ▽故意らしき沈着振り

▲十三日午前十時京城地方裁判所公判廷に於て開廷されたる裁判長は塚原判事にして伊藤檢察官立會せり辯護士は本尾、大橋、岩田の三日人辯護士、李基宇安秉瓚の二韓人辯護士なり傍聽席には李在明の妻及妻の母あり日韓の新聞記者連れて陪觀し勿論傍聽席は立錐の餘地もなく詰掛けたり殆んど其の韓人にて衙門外に喧噪し止まれるは時經つも立去らでありき▲軈て定刻となり裁判長以下着席し被告人李在明外十二名日韓看守巡査十數名に取囲まれて入廷するや裁判官の後方には法院長以下判事檢察官の數を悉して居並べり莊嚴とも物々しとも云はん方無し

▲打見れば被告は皆小僧共なり中に唯一人四十三才所謂分別盛りなるがあるのみ先づ誰れしも目を着くる李在明は見やれば小肥滿の丸顏にして人品殊に賤劣なり

▲此時裁判長は前記韓人辯護士の一人安秉瓚が李在明以外の被告人の辯護を引受けんことを申出でたるが各被告は韓人に辯護を依賴するの意ありや否を問ふ被告人等は裁判長より重ねて各個の存念を問はるゝまで容易に答へざりしが遂に三名のみ依賴し他は拒めり

▲裁判長が各被告の住所姓名年齡職業等を取調ぶること法の如くして伊藤檢察官は起つて起訴の事實を陳ぶること又型の如くし審問に移れり

▲先づ被告李在明は謀殺未遂及故殺の罪名の下に審問を受くるなりき被告は裁判長の問に答へて『前科無し、耶蘇信者なり』と云ひ兇行の模樣を述べて曰く『我れ短刀を揮つて李完用が肩の邊を刺せしは記憶すれども其の下より突きしか上より擊ちしかを覺へず李完用が車を下りて逃れんとせりと云ふは事實にあらず彼れは車より轉落せり此の際我れは驅り掛りて三たび彼れを刺せり然れども果して彼れを傷け得しや否やを識らず』とて彼れは李完用を後方より抱き止めて刺せしにあらずやとの裁判長の言を否認し李完用の車夫を刺殺せし事に關しては『警官等吾を捕へんとするより吾は之れを防がんとして短刀を揮はせしが此の時車夫を傷けしやも識らず』と云ひ裁判長が檢察官の訊問に對する彼れは車夫を刺殺せりと云へるの口供を以て詰りしに『吾れは兇行の後捕縛されて李完用邸に引かれし時一婦人來りて其夫殺害せられたりとて慟哭するを見て初めて車夫の殺されたるを知りしのみ』と答へたり

▲次で裁判長は犯罪の原因と連類者若くは贊成者の有無を問ひしに李在明は『加擔者は一人も無し併しながら李完用を殺害するは二千万の國人皆贊成する處なり』と嘯きつゝ李完用殺害は在米中發意せしが其理由四ありとて此處ぞ辯舌を揮はんと氣込みにて身体を斜、傍聽者に橫顏を見せつゝ何か饒舌り立てんとする機先を制して裁判長が『日韓協約に憤慨せしも其一ならん』と云ひしに李在明は『爾り』と答へつゝ拍子拔けの氣味なるは可笑しかりき

▲裁判長は一々他の被告の名を擧げて共謀の事實を確かめんとせしも李在明は一々之れを否認し且曰く『吾は天帝の前に虛僞の陳述を爲さゞるを誓へり』と而して李容九暗殺の計畫は彼れが昨年七月の交發意せし處なるも他に同志を語らひし事なしとて彼れの連類が二手に分れて兇行を遂げんとせし事實をも否認せり

要するに李在明は國家の爲めに斯る兇行を敢てせし而かも他に連類者は一名もなしと罪を一身に負ふて男振りを上げんとするもの〻如くなれども彼れの容貌体度より言語に至るまで如何にも下劣にして殊に最初裁判長の審問に對する時の如きは音聲の慄へるなど到底國事を憂ふる男とは見へで唯懲のなる一兇漢とより信せられず爲めに裁判長が連類者を指して『同志々々』と呼べるさへ甚だ耳に障りて厭はしく感ぜしが可笑しかりき

藝妓で狂立退請求

▽幾代れ八重▽凄腕 ▽奥さんの立退請求

富地赤門通りの雛代と云ふ料理屋の藝妓入山は本名隈本しま(十九)と呼び主人濱太郎が後妻の連れ子なるが藝の方は棄より敵服する程ならぬも若いに似合はず盛心なのには物判りが早いので重寶がられて居るのなりきが然るに八重君人の重寶丈けなつて居れば宜いのに何うも左樣は行かぬものと見ね昨年十月頃京城座の北俳何某と云ふ手頃な所を恐々一口括つて試所存外美味かつたので逆上て終ひれ八重の身に取れば大金の六七十圓から衣類迄入質して相當にトチ狂つて居たるを兩親に感付かれ目玉頂戴の上暫く中間もなく本町五丁目の關さんと深い交情となつたが又もや道敎し關さんは死んで冷たい石になつた幾時戀しくても豈夫に石と添ひ臥しは持病の痛癪と腹上合によくわるまいと根が俐怜な娘だけわつて歸の此度は旭町邊、丹波の篠山で生粹つたどか丹後の宮津でピンと出したどか云ふ人と深い契りを結んだが万一又此の人に死なれでもしてはならぬ須らくモ一人深い所をと手近の西山さんを丸め込んでヤレ安心と胸ろして落付けば何方が先きへ死亡なさつても跡釜の心配はない心丈夫に巫山戯られると胸で下してホツと臭を吐いた所を平民文庫に素破抜かれたるも八重は一向天下泰平新聞屋なんてものは馬鹿だね他の戀路を頭痛に病むより地情婦の一人かあ揃へれば好いに要するに其機働きはないと見へるのねエなんかんとイチヤツて居たが一方西山さんの宅では其の記事を見た手代が一大事出來と匿して置いた新聞を女中が見付け出し奥さんに見せたのでサア納まらない旦那も旦那だが八重も八重だ幾代も幾代だ新聞屋も新聞屋だ配達も配達だ、併し考へて見れば新聞屋や配達には文句も云へまい旦那には何日でも云へる事だよへ幾代だよエー速くれ什よと車に飛び乘り幾代に乘り付けれ前さん達の樣な不都合な人の好い旦那を瞞す樣な不都合な八重の樣な子を持つてる樣な八には此の家は貸して置けない嘘つた今ハイ唯つた今立ち退いて貰いたいと一寸聞いては分らぬ樣な夫れで居て譯の分つた談判を搾ぎ込まれたので八重も以前の如く天下泰平では濟されず爾來一切關係致しませんと平謝まりに謝つて漸く兇が付きは付いたが……踏み止まろう

女振り

京城寫眞館內儀 野々村孝子

主人の謙三君は大阪の產で三田と云へば慶應義塾の出身でスツキリとした好男子であるが生憎樣なことには堅い基督信者である、當地では日の出町の組合教會に關して居るのだが此の頭は非常に稼業が繁昌するのでモウ久しく集會にも出ないとのことだ、イエスも仰云つた、求めよ然らば與へられんと、夫れと此れとは少々相違するが謙三君の奮闘が今日の隆盛を來したので夫れが爲めの不參はイエスに於て御不服のある筈はない、孝子さんは明治二十五年九月二十三日の出生で元の群山稅關支署長中林思孝君の長女で、然うして謙三君と同じく基督信者で京城女學校の出身であるが家事一切優しいれ母さんのた指圖通りに遣つて御座るから危な氣はない何分れ若いのだから取り立てゝの女振りはないがれ母さんと非常に睦まじい、柔順は確かに女の一大美徳である、本町の織居時計店主が仲人で四十一年四月日の出町の教會で米澤牧師司會の下に結婚式を擧げたのだが昨年の十二月には謙三君生寫しの男の子さんが出來た名は史朗君、れ孝さんはモウ若いれ母さんである

● **韓人の官名詐稱** 憲兵隊密偵或は補助員と詐稱し韓無賴漢が巧に劇場の木戸番を欺き無錢入場觀劇するものあり延て憲兵隊の信用を失墜するより憲兵隊にては彼等の檢擧に努めしとは已報の通りなるが昨夜密偵分遣所憲兵が劇場取調べたる處京城北部大安洞別宮前三十六統十三戶無職金德任(當三十八年)同北部紅峴二十五統十四戶無職申壽鉉(當三十八年)の兩名は京城憲兵分隊の密偵なりとて無錢入場大盛觀覽中を取押へ目下留置取調中

● **貨幣僞造共犯者** 本年三月頃より西部養生坊大平洞在姜仁般主謀となり四五名共謀し五錢十錢二十錢銀貨を機械を以て僞造せる事發覺せられ主謀者二三名は其の當時逮捕せられしが該事件の共犯者として京畿道延川郡邑內居朴承裕北部署刑事に捕へられ目下嚴重に取調中なりと

● **正直相な橫着者** 仁川花町三丁目菓子商中佐良三郎方雇韓人金正道(二八)と云ふは其の名前こそ豪い正直相なる男なれ共一昨日得意先より三圓を拐帶して行衛を晦ませしかば其筋に搜査願を出し手を分けて探しつゝありたるに栗木洞の酒幕にて飮酒し居たるを取押へ說諭の上雇主に引渡したる由

● **子を忘れて移轉** 仁川本町四丁目高尾八十太郎長女綾子(四)と云ふは一昨日同家引越の混雜に紛れて行衛不明となりしかば其筋へ保護願を提出せしが同町永井店員永尾と云ふが泣き叫びつゝ市中を彷徨せる同人を警察に連れ行き親に說諭の上引渡されしと

● **人妻の行衛不明** 木浦東海岸通り柴田旅館止宿中島久男が內縁の妻京都生れの荒田すが(二三)と云ふは生命より大切な女房が四月二十日より逃走し行衛不明となりしより死者狂ひとなり釜山仁川木浦各地を搜索せしも見當らざるより西部署に十二日搜索願提起せり

● **娼酌婦逃亡二件** 龍山桃山遊廓山曬樓娼妓木曬事山口縣生れ藤村よつ(二六)は五月八日午前七時より八時迄の間に於て長谷川町矢橋商會店員渡邊嚴太郎に誘拐せられ行衛不明の爲め北部署管內溫泉に隱れ居る見込にて搜索願提起せりと

● **前借金を踏倒す** 北米倉町料理屋相澤榮五郎方抱酌婦吉川きよ(二三)は五月八日より前借金四十圓にて抱へられ中の所五月十一日家出の儘行衛不明に付情夫姓不詳伊助と逃走せし見込にて南部署へ搜索願提起せりと

● **新製烟草月世界** 大邱大石商會にて製造する烟草月世界は二十本入五錢品質佳良にして發賣日淺きに關らず好評を博し今回京城西大門驛前に出張所を設け廣く販賣を開始したりと云ふ

●● **取消** 五月十一日發行の本紙に「爲替金を騙取す」と題し記載したる事につき左の如く申込みありたるに依り制規に依りて取消すことゝしたるが同氏が右事件に關し檢事局の取調べを受けつゝあることは事實なるを附記す

拜啓陳は貴社御發行之五月十一日第四百一號紙上にかけ小拙者に關する記事は事實相違に付き全文を掲げ御取消相成度此段及請求候也

四十三年五月十一日 御成町十番戶 仁位幹 印

京城新報社御中

廓のうはさ

南山の綠葉日に增し濃かに杜鵑しば啼きて旅寢の夢ともすれば破れ易く候季とは相成り申候四方の粹士果して健在なりや廓の囃子は此の機會を利用して座下に閑安するの權利を有したるを光榮と致し候▲大枡屋の富次は來月早々年明きの都合なれば所帶は斯うしてアゝしてと理想を夢に悅び居り候▲月下樓は娼妓總員併て四名と申す不景氣何分どもに淋しさを感ぜざるを得ず候▲島屋の橫着妓小富は何故か新聞記者を恨み居り候癩病の痛恨みとは此れをしも申す可きか▲南山樓の花居は九日の日中一寸外出せしまゝ行衛も知らず跡白浪と消へ失せ申し候由なるが今頃は何所の岸の岩か根に打ち寄せ居り候やら心許なき限りに候▲第一樓本店の福壽は借金の首枷に何うも斯うもならず青息吐息つく〳〵浮世を果敢なみ居り候憐れとも思召さば少々貸して遣つて下され度候▲皆春樓は張店を增築して一大飛躍を試むべく目下準備中に御座候▲同樓の支店玉の家にては今般東京吉原より尤物三四名を抱へ名は既に着任時子と名乘りを揚げ職務に勵精致し居候▲餘は明日(舟遊)

目と耳

▲**歌舞伎座** 木村一座十四日替り狂言は德冨芦花子作「不如歸」全七幕川島浪子(君子)加藤千鶴子(淳華)片岡道子(靜子)片岡中將夫人(石井)女中千葉(トキ)千代田(田先)吉備(渡邊)書生岡村(車夫)山田(內田)下女(奥山)女中(楠)乳母いく(福澤)山木兵造(富士井)書生(小出)家扶(寺田)川田(東)竹蔵(三好)加藤靜子(白石)番士(廣瀬)末亡八(桃井)川島武夫(木村)

▲**壽座** 十四日(二日目)の替り藝題は「蝶千鳥曾我の實錄」にして役割左の如し 曾我五郎時宗、仲居れとき(中村歌若)大磯の虎御前(實川正三郎)大磯少將、弟藝妓坊(山村内匠之助)京小四郎朝比奈、鄕御所五郎丸(市川三之助)八幡三郎(片岡鼠之助)本田唯五郎(市川鷹次)曾我一郎祐成(澤村竹三郎)鬼王道三郎、仁田四郎(片岡九十郎)母滿江、工藤祐經(三桝大舍)

▲**浪花館** 十四日の口演目錄如左 兵庫渡海鑑の身入(若三郎)厄拂ひ(若明)御遊伯(小若三)大和勘定(笑三)口合小町(文福)有難(座員總出)天災(若遊三)大切所作や早替り瀧氣應用

▲**平民文庫**▼

▲會計さんに貰つた名刺を持つて歌舞伎座に行きましたら木戸を突かれましたが腹が立つ何うしたら宜いでしようか(新聞社の給仕)▲何所の新聞社の給仕か知らないが彼の位入りのある名優の演劇を名刺で見樣と云ふのが間違いだ▲角力丈けは京城にも本物が來た放れれ丸に錢を持つて行つて見るとする▲南大門驛前のエーテーは殆んど淫賣屋同然の女が居る必要の然らしむる所かな(兵古垂)▲記者さん日の出亭のれゆきは眞正に故鄕に歸つたのでしようか(聞亭生)▲直接聞きなさい馬鹿奴(小僧)▲太平町の○萬と金歯を入れた初子とか云ふ女が居る(兵助)▲居るのが何うしたヒヨツトコ奴(小僧)▲小僧貴樣は今日は馬鹿に怒るナア(係)▲投書が悉く詰らんからさ(小僧)▲女振りに辻屋や龜屋や青木堂や中村再造れんや秋吉さんのを揭るのですか出れば何日時分です(同庚生)▲無論出しますとも併し何日だかは天機に屬す▲滿すべからず(係)▲中山八郎君に告ぐ少々れ話が諄い御依賴に應する能はず(三面子)▲平民將軍と云ふ人から下の如き投書がわつた去る十日の午後七時頃一韓人が額より血を流しながら南大門通り二丁目の交番に本町二丁目で日人車夫の爲めに毆打せられましたと訴へ出でたるに詰合の日人巡査は本町二丁目にも巡查は居る筈だ其の方へ行けと云つた公明なる貴官の御制裁を仰ぐと訴へ出でたる韓人は其所に居られた巡査に話し爲ましたか言語不通の爲め此所に來ましたと云つたら其樣ことはない其所へ行けと大喝した韓人はアイコ〳〵と云ひながら去つたさ▲其樣筈はないのだ、と云つたら有るべからざる事が有つたから奇怪だと云ふのだと云はれるかも知れぬ、理屈は確かに左樣だが文庫子は確かに信ずることは出來ぬ▲併し斯う云ふ風なことも全然見掛けぬことで

はない當事者の注意を要することは無論であらう(風聞子)

今日の運勢

五月十四日(舊四月五日七赤)友引 己卯 [illegible]

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

廣告

木材賣却廣告
一鴨綠江松材現木
長サ八尺五寸以上二間半
一尺五寸角以上二尺迄
右木材多數所有致し居候に付特別安價に賣却仕候間御望の方は御來談被下度願上候
京城旭町三丁目
建築業 柴田芝六
電話五百六十八番

訴訟非訟登記戸籍上の變更訂正諸願契約起案諸會社定款作成其他諸般の代書
右者拾數年の經驗と精實とを以て迅速に依頼者の滿足を旨とし事の大小難易を問はす自ら其衝に當り極力成效を期す
京城裁判所前向
池田事務所

入院隨意
内科 外科 小兒病 梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
院長 陸軍軍醫正 高井貞治
電話二二六

京流割烹
並に
歌舞伎辨當
材料の豐富と技術の熟練は割烹界に於ける弊店の特色に有之候
南山町一丁目(電話一五〇二番)
すゞ津袮
出前の儀は電話又は一報次第即刻持参可致申候

電話一一八二番
たちや
京城黄金町
大槻商行質部
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱極めて安全に一定の場所に保管す
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

●襖●並に
表裝一式
材料販賣
勉強
龍山大島町
尾崎表具店

提灯 新規張替 大勉強
並に硝子看板印物調進
京城本町一丁目表通
藤井提灯店

入院隨意
中島醫院
京城壽町三丁目(電話三一七八番)
院主醫學得業士 中島貞信

諸荒物世帯道具一切
其他和洋蠟燭 アサヒ サツポロビール 精白米
右大勉强仕候に付陸續御用命仰付られ度伏奉願上候
京城本町六丁目
日用雜貨 卸問屋 ㊄西 西崎嘉七本店
電話二一〇番(二カ)
振替貯金口座韓國七番

●朝鮮唯一の土產夏季滋養●夏痩の人は必ず飲め
賜東宮殿下御買上之榮 清國領事館御買上品 韓國京城博覽會褒狀受領ス
滋養强壯 人參飴
世界第一等の滋養品 牛乳鷄卵に優る効數倍
元祖發賣元 京城本町三丁目 井口順生堂藥房
本品は滋養劑として東洋第一と稱せらるゝ朝鮮人蔘を以て精製したる物にて朝鮮唯一の御土產品なり
本品は殊に夏季の强壯劑として頗る適切有効なるを以て何卒一度御試用の上御好評を仰ぐ
◎特約販賣店 京城、釜山、仁川、平壤、開城、龍山、鎭南浦、元山及各地有名藥店雜貨店に於てす最寄にて御買求を乞ふ
京城本町三丁目(電話一九九番) 井口大藥房
京城大阪賣店 龜屋(本支)店
青木堂

賣切中
一式荷揃
夏物
帽子 洋傘 夏肩掛
シヤツ 靴下 夏手袋
其他新荷着雜貨取揃居候
京城本町貳丁目
四ケ所商店
(電話三二一番)

米國プロクター、エンドギャンブル會社製品
IVORY SOAP
アイボリーソープ
Procter & Gamble, Cincinnati
●僞物あり●
入浴にも、化粧にも、食器衣類の洗濯にでも適します
●商標と包紙に御注意●

値上廣告
韓語大成
一部一圓八十錢
郵送料十五錢
從來一部一圓五十錢の處今回紙數百余頁を加へ改正增補致候間前記の通り値上候也
京城本町五丁目
釘本藤次郎本店
長電話四五番
振替貯金口座韓國二五六番

明治廿年七月創立
東京火災運送海上保險株式會社
資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口吳服店 電話九番
事務所 京城南大門通二 電話一〇六〇番

京城本町四丁目
印章彫刻
ゴム印彫刻
赤帽子號印鋪
電話九三番
諸官衙御用達
奥野岩太郎

きゝめのある
温泉湯
此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひぜん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり
京城本町一丁目郵便局前
貸席
鐵冷温泉
電話千四百十一番

金錢貸借電話讓渡
土地家屋老舖賣買
人事百般其他
京城明治町一丁目勸商場前
周旋業
明治屋

東京
足袋
正札付大安賣厘毛引なし安心して買へ升
本店東京
京城大和町一丁目(日の出橋際)
大和屋
藤井出張店
電話二百〇五番
明治町勸商場内ニモ出張店アリ

内外科
花柳病
(入院隨意)
京城南大門外
戸田病院
電話九三八番

御披露
大世間假に春めきて蝶々は咲き匂ふ百花に狂ひ大方の粹樣方には一山超へて新町遊廓は解語の花に戯れ玉ふ中の好季節となりましたので後醍の別れを惜み歸へらせ玉ふ粹樣方の御便宜を圖り今回美をつくし清を極めたる風呂場を新築毎朝午前六時より浴場を開き一風呂サツと移り香を流させ玉ふ其の間に湯豆腐、酢の物、椀の物御好みに應じ極めて輕便に三府流の粹をぬきたる一品料理調へ御愛顧に酬ひ奉り升夫れと
鰻丼(上等三十五錢)
親子丼(上等三十錢)
何時にても御注文に應じ又た出前も致し升が特に宴會は十二分に勉強老妓御好みに應じ數々の内藝妓も侍らせて御興を添へ其他碁、將棋、加留多等も一切取揃へましたれは隔てなき御友達又は御家族打ち沖れての御光來を偏に奉願升
大和町三丁目 電話七三五
梅の家

特約販賣 自製
味噌醬油製造元
漬物問屋
京城本町五丁目
大上商店
(電話二五一番)
支那白菜漬 朝鮮菜葉漬 大賣出し

旅館
京城南山町三丁目
京城ホテル
電話長一二三番 四九二番
日本室和食
特等(三圓五十錢)
一等(二圓五十錢)
二等(壹圓八十錢)
三等(壹圓五十錢)

金魚各種
卸小賣
陸軍御用達
龍山山下町一丁目(兵器支廠官舍入口)
馬木勇吉本店
電話三六四番
茶器商
京城本町五丁目一番戸角
馬木勇吉支店
電話四七一番

辯護士 特許辯理士
京城明治町二丁目(佛國教會前)
岩田仙宗
電話三五四番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
委託販賣
東京 ランバート商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約
仁川 臺灣合資會社食鹽特約
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目(電話二三〇番)
出張所 東京京橋區築地十番地 京城新町 南大門通三丁目 一九六 二二

紙と印刷
諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本
諸官衙御用
播本(ハリモト)商店
京城本町六丁目
電話百拾番

奥出洋服店
京城櫻井町五十七番ノ一(電話一二五五番)

各科診療
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
入院隨意

消毒牛乳(保證附)
フレッシュバター(新鮮乳油)
韓國畜產株式會社
南大門外 電話八八番

★株式會社百三十銀行韓國總支店
京城本町二丁目十五番地
電話五十八番
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
爲替取組先
畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市
東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、静岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪
東山道 彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎
北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、高山、伏木、新潟
山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、久手、大田
山陽道 龍野、姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、府中、尾の道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山小郡、長府、綱干
南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱
西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲
北海道 函館、小樽、札幌
台灣 臺北、嘉南
韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晋州、尙州、馬山
銀行一般の業務精々便利取扱可申候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金九拾五萬圓
京城南大門通
株式會社十八銀行京城支店
(電話四二〇)
本店 長崎市榮町
支店 出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日歩壹錢二厘七毛)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)